

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

設立趣意書

言語聴覚障害に関わる専門職が我が国に誕生してから約 50 年が経過しました。私たちはコミュニケーションに問題を持つ方に対して、質の高いサービスを提供し、その生活の質の向上と社会参加の促進を支援することを目指し、多彩な活動を行って参りました。1997 年 12 月に言語聴覚士法が成立し、1999 年 3 月には第 1 回国家試験が実施され、国家資格としての言語聴覚士が誕生しました。この言語聴覚士の誕生を受けて、2000 年 1 月に日本言語聴覚士協会を設立いたしました。

設立以来、本協会は各制度における言語聴覚療法の適正な位置づけへの取り組み、広報活動、学会開催や学術誌の発行、研修会開催や認定言語聴覚士制度の創設などの生涯学習活動、国内外の関連団体との連携など言語聴覚障害領域に関する多くの事業を推進してきました。本協会の活動に対してご理解とご支援を賜りました全ての関係諸機関および関係者各位に厚く御礼申し上げます。また、貴重な時間を割いて協会活動に献身された会員諸氏に心から感謝申し上げます。

現在、我が国の保健・医療・福祉・教育を取り巻く状況は急速に変化しており、各方面でさまざまな構造改革が進んでいます。このような状況の中で私たちが取り組む必要のある課題は山積しています。これまでの歴史と実績を踏まえ、全ての会員が相互に活発な意見交換をし、一致協力して新たな道を切り開き、新時代を築いていきたいと思っております。

協会設立後 10 年目を迎え、更なる発展を目指し、国民の保健・医療・福祉・教育の増進に寄与することを目的に、一般社団法人日本言語聴覚士協会の設立を提案いたします。